

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
造形表現	2	前期	実演	1	丸田 多賀美
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：乳幼児の造形表現に必要な基本的な知識を理解し、独自の表現を伸ばし、感性を豊かにする。 到達目標 1) 乳幼児期の表現の特性を理解するとともにモダンテクニックの技法など、幼児でも楽しめる表現技法について理解する。 2) 幼児期における造形表現の重要性を理解し、造形教育活動に必要な技法を身につける。 3) 様々な表現技法を応用し、実際に自分でも楽しんで作品を制作することができる。 4) 造形の授業を通して造形活動を改善する視点を身に付ける。 5) 造形活動の動向を知り、保育構想の向上に活用することができる。					
○授業の概要 幼児の造形表現の理解に必要な基本的な知識を習得させるとともに、幼児の造形表現の指導に必要な基礎実技について演習させる。					
○授業計画 第1回：「造形表現演習の計画」 造形表現演習の目標と内容について理解する。 第2回：「創造の意味と創造の過程」 創造の意味と創造の過程について理解し、人間像の変遷と創造的人間像についてまとめ、造形表現指導との関連を考える。 第3回：「モダンテクニック」・マーブリング・フロッターージュ・コラージュ)の技法について理解する 第4回：「モダンテクニック」・スパッタリング・ドリッピング・吹流しの技法について理解する。 第5回：「モダンテクニック」・スタンプング・デカルコマニー・バチックの技法について理解する。 第6回：「家族の肖像画」①これまで学んできたモダンテクニックの性質を活かした「家族の服」「背景」のデザインを工夫する。 第7回：「家族の肖像画」②デザインをもとに「家族の肖像」をテーマに制作する。 第8回：「家族の肖像画」③作品の仕上げと相互鑑賞・作品を仕上げ、相互に鑑賞する。 第9回：「粘土のケーキ」①参考作品を見ながら、魅力的な造形のケーキまたは食べ物を粘土で再現するためのデザインを考案する。 第10回：「粘土のケーキ」②各自で集めたデコレーションパーツやホイップ粘土の特性を活かして、それぞれが考案したケーキのオブジェを粘土で創作する。 第11回：「粘土のケーキ」③作品の仕上げと相互鑑賞・作品を仕上げ、相互に鑑賞させる。 第12回：「砂絵」 ①砂絵の特性を理解し、参考作品を見ながらオリジナルの下絵をデザインする。 第13回：「砂絵」 ②デザインをもとに砂絵を制作する。 第14回：「砂絵」 ③作品の仕上げと相互鑑賞・作品を仕上げ、相互に鑑賞させる。 第15回：「幼児造形指導の構え」 これまでの造形活動を踏まえ、幼児の造形表現の基本原則についてプリントを中心にまとめる。また、指導者の条件についてまとめる。					
○テキスト					

プリント
○学生に対する評価 提出物 80% レポート 20%